

2008(平成20)年10月 受払表

日本スチレン工業会

ポリスチレン

単位:t

	今月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫	85,491	102	82
生産	65,801	99	94
出荷	内需	56,956	92
	輸出	1,995	65
	計	58,951	91
月末在庫	92,338	108	89

内需内訳	今月実績	前月比	前年 同月比
電機工業用	12,736	80	72
包装用	26,081	95	88
雑貨産業用	6,737	103	74
FS用	11,402	96	75
合計	56,956	92	79

スチレンモノマー

単位:t

	今月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫	97,558	101	109
生産	202,394	104	74
出荷	内需	130,368	99
	輸出	82,313	115
	計	212,681	105
月末在庫	100,209	103	121

内需内訳	今月実績
GP・HI	61,291
EPS	11,797
AS	2,291
合成ゴム	14,489
不飽和 ポリエステル	1,428
ABS	15,128
その他	23,944
合計	130,368

2008年11月17日(月)

PS 及び SM の 2008 年 10 月度実績概況

PS

生産は、需要減による減産のため前年同月比-6%となった。
定修は1社だった(前年は3社)。

国内出荷は、前年同月比-21%と減っている。ここ3ヵ月低水準が続いている。6,7月の先行出荷の反動に加え、景気の急激な悪化が影響していると思われる。用途別では電機・工業用は7月以降デジタル家電が低迷しているほか、事務機器他も不振である。包装用では OPS その他用が比較的堅調だが全体としては減少。FS用はボード用が不振。雑貨産業用も不振。

輸出は、液晶パネルの減産により韓台向けを中心に減少した。前年同月の輸出が多かったため、前年同月比では落ち込みが大きく-67%となっている。

出荷計は国内、輸出共に減ったため約5万9千トンと非常に低い水準である。

在庫は出荷減を受けて増加した。

SM

生産は、定修が前年より多いことに加え(定修今年3社、前年1社)、需要減に対応した減産があり前年同月比-26%となった。

国内出荷は、ABS向けを始め各用途共減少しており、前年同月比-20%となった。

輸出は、中国向けが大幅に減って、前年同月と比べ-28%となっている。

出荷合計は国内出荷と輸出が共に減って前年同月比-23%となっている。

在庫は出荷減を反映して約10万トンとなった。

以上